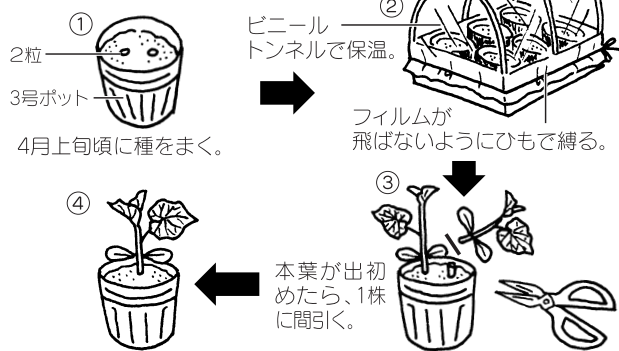


# カボチャ

## 1 苗作り・畑の準備

### ポット育苗をする場合



### 土作り

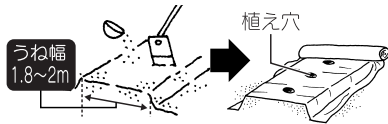
植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。



**土作り**  
苦土石灰: 1㎡あたり100g  
JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

### 元肥・うね立て・マルチ張り

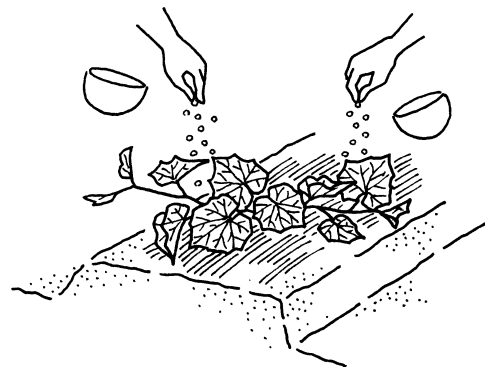
植え付けの1週間前までに、カボチャは吸肥力が強いので元肥は控えめにまき、うね立てを行いマルチを張ります。



**元肥**  
JAファームやさいの元肥: 1㎡あたり80~90g (ひと握り約40~50g)

## 4 追肥・敷わら

追肥は、草勢をみながら必要に応じて行います。つるの伸長に合わせて敷わらを広げていきます。気温が上がったら、地温の上昇を防ぐため、黒マルチをはがし、敷きわらをします。

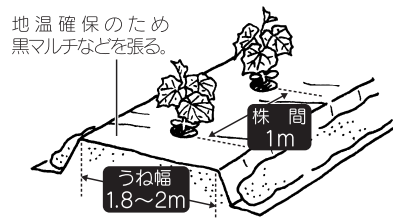


## 2 植え付け

### ポット育苗の植え付け

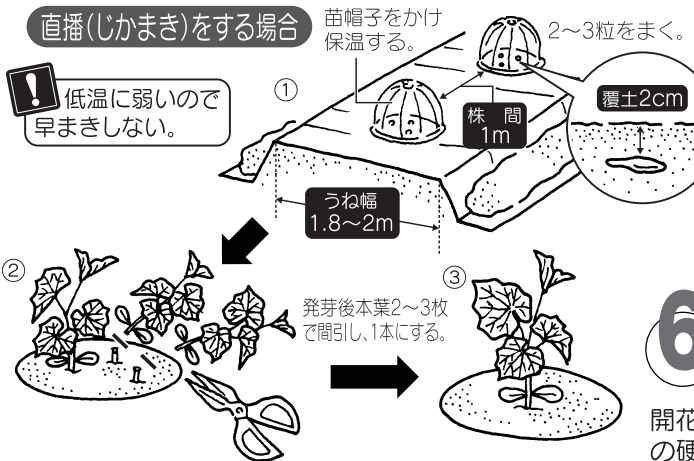
本葉3、4枚頃に植え付けます。

❗ 植え付けは、凍霜害の心配がなくなった頃に植える。



### 直播(じかまき)をする場合

❗ 低温に弱いので早まきしない。

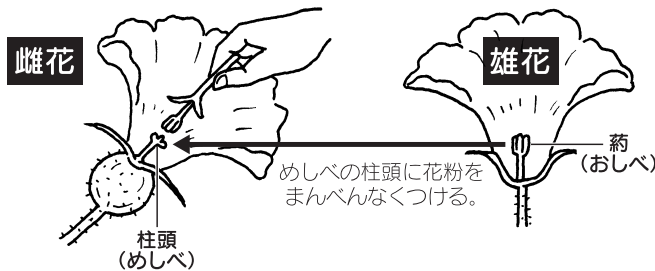


## 5 人工授粉

雨や曇天が続いたりすると授粉しないで花が落ち、実らないことがありますので、確実に結実させるためには、人工授粉を行います。

### 人工授粉の方法

なるべく朝早く行う。(午前9時頃までに行う)

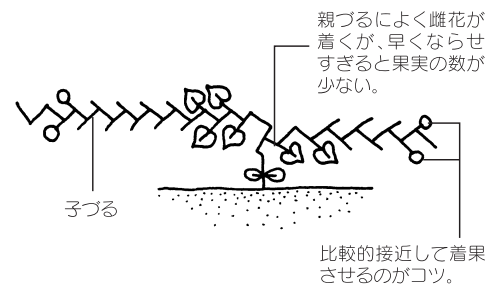


## 3 整枝(仕立て方)

カボチャは摘芯(芽止め)をした方が、たくさんの実をつけます。

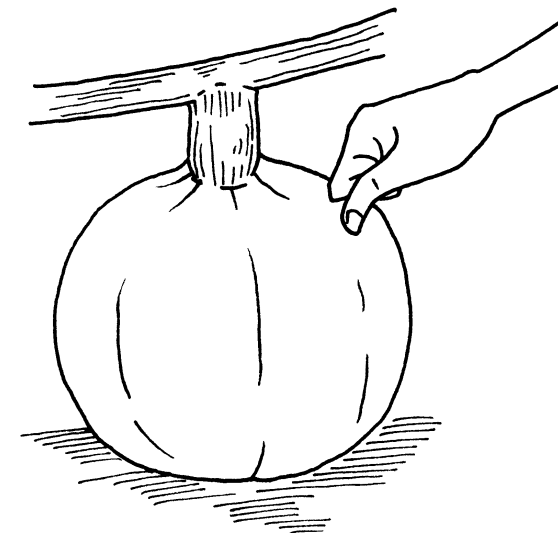
### 摘芯(芽止めの仕方)

カボチャは親づるによく実がつくので、よく育った子づる1本を反対側に伸ばし、他の子づるは摘み取り、親づる1本、子づる1本の計2本仕立てにします。



## 6 収穫

開花後、約40~50日で爪を立てて跡が残らない位の硬さになったら収穫適期です。



科名	ウリ科
原産地	アメリカ大陸
連作障害	なし

制作  
JAファーム 専門部会  
(無断転載禁止)